

やまなし県議会だより

六月定例会の概要

県議会は、平成三十年六月定例会を六月十九日から七月四日までの十六日間の日程で開きました。

知事は、中部横断自動車道の開通や東京オリンピック・パラリンピック大会の開催、そしてリニア中央新幹線の開業など、山梨の可能性は大きな広がりを見せることから、今後も、社会の変化や時代の潮流を見定め、山梨のポテンシャルを最大限生か

しながら、本県の未来を切り開いていく考えを示されました。また、東京オリンピック・パラリンピック大会に向け、これまで事前合宿の誘致を積極的に推進してきた結果、現在十の市町村において九競技の事前合宿が決定しており、同大会の開催が二年後に迫る中、今後は、県民全体の機運醸成やレガシー創出に向けた取り組みを積極的に推進していく必要があるため、県民・関係団体・行政が一丸となり、オール山梨で取り組みを進めるための体制を整備することを強調されました。



高雄市議會・山梨縣議會
友好交流促進備忘録締結儀式

台湾の高雄市議会からの訪問要請を受け、県議会友好訪問団を派遣し、両議会の友好交流に関する覚書を締結しました。

知事の説明を受けて、六月二十二日、二十五日から二十七日の四日間、代表・一般質問を行いました。六月二十八日に教育厚生、農政産業観光委員会、二十九日に総務、土木森林環境委員会を開催し、付託案件や所管事項の審査を行いました。

定例会最終日の七月四日には、議員提案した太陽光発電設備の立地規制等に係る法整備等を求める意見書や総額八十三億七千九百六万三千円的一般会計補正予算案など十四案件を可決、承認しました。

議会活動の紹介

人口減少対策について知事に提言

議員発議による「人口減少対策に関する政策提言」が六月定例会閉会日に可決されました。

この提言は、県政の最重要課題と位置づけられている人口減少対策について、県議会として、移住・定住促進、企業誘致、地域産業の振興等に係る取り組みや施策を取りまとめたものです。可決後、正副議長と、人口減少対策政策委員会の正副委員長が知事に提言書を手渡し、政策への十分な反映を求めました。



右から桜本広樹委員長、白壁賢一議長、後藤齋知事、久保田松幸副議長、佐藤茂樹副委員長

富士の国やまなし物産フェア

県産品をPRする「富士の国やまなし物産フェア」が東京都内で開催され、多くの議員が参加しました。

会場では、ブドウやサクランボなどの果物、ワイン、日本酒、織物など本県の特産品の販売や、甲州牛、ほうとうなどの試食とワイン、日本酒などの試

飲が行われ、多くの方に本県の特産品を知っていただきました。



富士の国やまなし物産フェア

関東甲信越一都九県議会議長会

五月十六日、十七日に、茨城県水戸市で関東甲信越一都九県議会議長会が開催され、白壁賢一議長と久保田松幸副議長が出席しました。

会議では、国への意見書について話し合わせ、関東甲信越ブロックとして全国都道府県議会議長会に提出される議題が決定されました。

また、次回の会議は、本県で開催されることが決定されました。

新益のあいさつまわりについて

新益のあいさつまわりにつきましては、自粛することを申し合わせています。県民のみなさまのご理解をお願い申し上げます。

山梨県議会議員一同

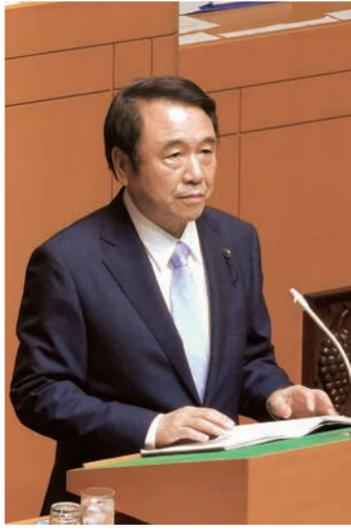


6月定例会議会では、6月22日、25日から27日までの4日間にわたり、代表、一般質問が行われました。各議員の質問項目は次のとおりです。

代表質問

- 東京オリンピック・パラリンピック総合競技場
- 介護人材の確保・定着及び資質向上
- 県立育精福祉センター児童寮
- 「山の日」記念全国大会の本県開催
- やまなし観光推進機構のDMOとしての取り組み
- インバウンド観光の受入環境整備の取り組み
- 県産農産物の販路拡大等の推進
- 公共事業予算の執行
- 甲府城と周辺の整備等
- 開館四十周年を迎える県立美術館の取り組み
- 国民体育大会の招致と屋内五十メートルプール整備

自民党誠心会 皆川 巖



- 東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けた取り組み
- リニア中央新幹線の開業に向けた取り組み
- 県民の健康対策
- 鳥獣害対策に関する捕獲従事者の確保・育成とライフル射撃の練習環境の向上
- 太陽光発電施設に対する取り組み
- 企業立地に向けた取り組み
- 本県の観光振興
- 本県農業の振興
- 中部横断自動車道の整備促進と周辺地域の道路整備
- 青少年の育成

自民党誠心会 浅川 力三



チームやまなし 卯月 政人

- 農福連携の推進
- 健康寿命の延伸に向けた取り組み
- 産科医療確保の取り組みとその成果
- 県外への鉄道通学支援拡大の取り組み
- やまなし水ブランド戦略の取り組み
- 本県の山地災害対策
- 地域DMOを活用した観光地づくり
- 次世代自動車の普及促進への取り組み
- 中央自動車道の渋滞対策と代替機能を有する道路の整備
- 子どもの安全対策の取り組み等
- 東京オリンピック・パラリンピック等に向けた安全対策
- 不登校児童生徒への支援
- やまびこ支援学校の移転整備



リベラルやまなし 清水喜美男

- 「CO₂ゼロやまなし」の実現
- 大規模災害時における応援受入体制
- 避難生活における保健医療提供体制
- 希少な野生動物の保護・保全
- 木質バイオマスの利用促進
- 森林空間の活用促進
- 医療機器関連産業に参入する中小企業への支援
- 耕作放棄地対策
- 農業への新規参入者の確保と経営の安定化
- 豪雨災害への対応
- 下水道施設の老朽化対策
- 地域産業を支える人材育成教育



一般質問

- 土砂災害対策
- 県産材の安定供給
- 食文化の継承と地域の活性化
- 北杜市須玉町地内の産業廃棄物不適正処理
- スポーツ推進委員の活用

大柴 邦彦 (自民党誠心会)



- 若年層の人口減少対策
- U・Iターン就職の促進
- 保育士の専門性の向上と処遇改善
- 国の米政策の転換を踏まえた酒米の生産
- 峡南地域のサイクルツーリズムの推進とサイクルトレイン
- 富士橋の整備の進捗と修景への取り組み
- 教員勤務実態調査と多忙化改善

望月 利樹 (チームやまなし)



- 病児・病後児保育体制の整備拡充
- 企業主導型保育施設
- 移住定住対策
- 高齢者の活躍の場の創出
- ジビエ振興

永井 学 (自民党誠心会)



- 在宅医療の普及啓発と人材の育成
- 新たに創設される国の「森林環境税」への対応
- 中部横断自動車道の開通を見据えた企業誘致に向けた取り組み
- 中小企業等における事業承継
- 峡南地域における観光振興の取り組み
- 本県主要農作物の種子の安定供給
- 地域ぐるみの農作物の鳥獣害対策
- 峡南地域の新設高校の開校に向けた取り組み
- ICTを活用した高校生の学力向上への取り組み
- 外国語教育における小学校、中学校、高等学校の連携

遠藤 浩 (自民党誠心会)



- 若者の定住促進
- 子どもの貧困対策
- 産前産後ケアセンター
- 県内における労働力の確保
- 空き店舗を活用した商店街の活性化
- 空き家対策
- 中学校からのキャリア教育の推進

猪股 尚彦 (自民党誠心会)



- 富士山保全協力金

渡辺 淳也 (自民党誠心会)



- 富士山ハザードマップの改定
- 一時的に子どもを預かる事業の充実
- 県産FSC認証材の需要拡大
- 富士技術支援センターの研究開発支援棟を活用した企業支援
- 富士北麓地域の道路整備
- 富士山火山噴火対策防事業
- 小学校における外国語教育導入への支援

宮本 秀憲 (自民党誠心会)



- AIを活用した行政の効率化
- 健康寿命の延伸と誘客
- 公共インフラの老朽化
- 木質バイオマスの利活用
- 再生可能エネルギー

可決された意見書

- 教職員定数改善、少人数学級推進及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための意見書
- 太陽光発電設備の立地規制等に係る法整備等を求める意見書

採択された請願

- 教職員定数改善、少人数学級推進、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図ることに

議案等に対する議員別の賛否は、ホームページでご覧いただけます。



ホームページ 会議録を ご覧ください

県議会に関する各種情報を、ホームページからご覧いただけます。また、本会議の会議録については、県議会ホームページの会議録検索システムのほか、県立図書館、お住まいの市町村役場等でもご覧いただけます。

山梨県県議会 検索



http://www.pref.yamanashi.jp/gikaisom/index.html

委員会レポート

総務委員会

委員長 水岸富美男



東京オリンピック・パラリンピック 総合推進事業費

問 フラッグツアー(オリンピックフラッグ等の巡回展示等を行う取り組み)では、県民の機運を一層盛り上げていくため、次世代を担う子供たちの参加が重要と思うが、県ではどのように考えるのか。

答 フラッグツアーで実施するイベントでは、県内小学校、中学校、特別支援学校の児童生徒の参加を促すとともに、小中学校訪問イベントの際には、児童生徒がオリンピック出場選手等から直接指導等を受け、目標を持って頑張ることの大切さや楽しさを実感できる貴重な経験の場としたいと考えている。これらにより、子供たちの平和でよりよい社



リニア見学センターを調査する委員

会をつくるオリンピック精神を養い、健全育成につなげ、家庭や地域で大会に向けた機運が一層高まるよう努める。

【その他の主な質問事項】

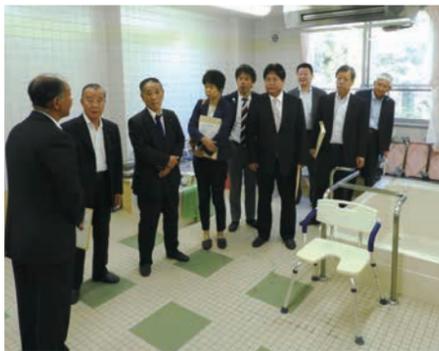
- ・ 葦崎警察署建設事業費
- ・ 東京オリンピック自転車競技ロードレース推進事業費
- ・ 甲府市の中核市指定に係る申出に関する同意の件

山梨県病院及び診療所に関する 基準等を定める条例の改正

問 今回の介護老人保健施設における病床数の算定方法の改正は、国の規則改正に合わせて行うものだが、国はどのような考えで改正を行うのか。

答 医療法では、医療圏域ごとに基準の病床数を定めており、基準の病床数を超える地域では、原則として新たな病院の開設等、病床の増加は認められていない。

こうした中、介護老人保健施設は、介護と医療の中間的な施設であるとの考えにより、入所定員数の半分を既存の病床数に算入することとしたが、介護老人保健施設の整備を進めると既存の病床数が増加し、結



特別養護老人ホームを調査する委員

果として、その他の必要な病床の整備に支障が生じる可能性があることから、国はこの規定を削除することとした。なお、この規定は条例制定時から当分の間適用しないとされたものであり、削除による影響はない。

教育厚生委員会

委員長 桜本広樹



【その他の主な質問事項】

- ・ 動産購入の件

総務、教育厚生、農政産業観光、土木森林環境の四常任委員会は、六月二十八日、二十九日に平成三十年度一般会計補正予算案等の付託議案及び請願等に係る審査を行いました。また、七月四日の本会議では、各常任委員長が審査の内容及び審査結果を報告しました。

農政産業観光委員会

委員長 永井 学



インターンシップ交通費 支援事業費補助金

問 県内の中小企業が人材不足に苦しみ、インターンシップに参加する県外大学生等に交通費を支給することで人材確保につなげていくとのことだが、この事業を通して、今後、どのように県内企業への就職につなげていくのか。

答 県では、これまでにインターンシップ受入企業を二百七社開拓している。そのうち、平成二十九年度は、五十四社がインターンシップを受け入れており、県外から百四十二名の学生が参加している。インターンシップは、企業の採用活動にとっても、学生の就職活動にとっても大きなウエイトを占めているが、県内企業においては、インターンシップに



宝石美術専門学校を調査する委員

参加する学生が少ないことが課題となっており、この事業を通して、インターンシップに参加してもらって環境をつくることで、一人でも多くの学生に県内企業を知ってもらい、県内企業への就職につなげていきたい。

【その他の主な質問事項】

- ・ 企業参入型野菜産地強化事業費補助金
- ・ やまなし産地パワーアップ事業費補助金

緊急道路整備改築費

問 県道市川三郷富士川線の富士橋の整備について、今回の補正事業でどのような工事を行うのか。また、今定例会で補正することによりどのよう効果が得られるのか。

答 平成二十九年年度までに河川管理者との協議や地元説明会での了承を得て、計画全体の詳細な設計が完了したため、今回の補正予算を活用し、右岸側の橋脚二基の工事に着手する予定である。

また、橋脚の下部工事は、河川内での作業となるため、濁水期内の工事が義務付けられているが、この時期の補正により、十一月までの契約締結が可能となることから、一濁水期での工事施工が可能となり、九月定例

会以降での補正に比べ完成が約一年早くなる。これにより、富士橋の供用・整備効果の早期発現が期待できる。

【その他の主な質問事項】

- ・ 第四回「山の日」記念全国大会開催準備費
- ・ 森林資源高度利用型施設事業費補助金

土木森林環境委員会

委員長 大柴邦彦



木質チップボイラーの稼働状況を調査する委員

新たな政策案作成等委員会を設置

四月十九日に開催された山梨県議会政策立案特別検討会議において、県産木材の利用促進に係る条例及びミネラルウォーター税の導入に関する提言の二項目が、政策提言等の対象とすべき事項に決定されたことを受け、新たに二つの政策案作成等委員会が設置されました。

山梨県産木材利用促進条例案作成委員会 委員名簿

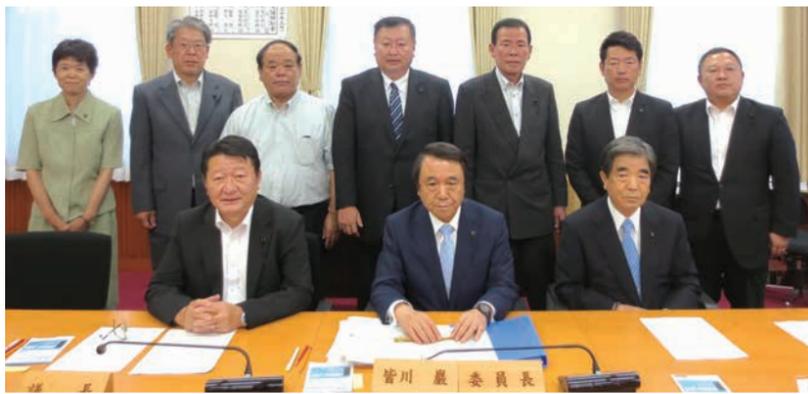
委員長	鈴木幹夫
副委員長	望月利樹
委員	中村正則
委員	浅川力三
委員	石井脩徳
委員	桜本広樹
委員	渡辺淳也
委員	卯月政人
委員	飯島修
委員	安本美紀

ミネラルウォーター税導入に関する政策提言案作成委員会 委員名簿

委員長	皆川巖
副委員長	猪股尚彦
委員	白井成夫
委員	河西敏郎
委員	永井学
委員	乙黒泰樹
委員	久保田松幸
委員	水岸富美男
委員	古屋雅夫
委員	小越智子



山梨県産木材利用促進条例案作成委員会



ミネラルウォーター税導入に関する政策提言案作成委員会

指定管理施設・出資法人調査
特別委員会を設置

指定管理施設の管理の業務又は経理の状況及び県が出資している法人の経営状況を調査する指定管理施設・出資法人調査特別委員会(山田一功委員長)を、七月四日の本会議において設置しました。

調査の対象は、四十九の指定管理施設と県が資本金等の四分の一以上を出資している二十八法人です。

同委員会は、閉会中も該当施設・法人の審査や現地調査などを継続して行い、その審査結果を九月定例会に報告する予定です。



指定管理施設・出資法人調査特別委員会委員名簿

委員長 山田 一功
副委員長 上田 仁

委員
渡辺 英機 浅川 力三 望月 勝
遠藤 浩 宮本 秀憲 乙黒 泰樹
水岸富美男 古屋 雅夫 小越 智子

情報端末導入検討委員会

情報端末導入検討委員会(中村正則委員長)は、県議会のペーパーレス化等の促進のため、既に議会の情報端末を導入している神奈川県議会と東京都江東区議会を視察し、各議会での活用状況を調査しました。

調査先では、担当職員から現状についての説明を受け、委員からは情報端末導入における経緯や課題等について質疑を行いました。

今後は、今回の調査やこれまでの検討結果をもとに、情報端末導入に関する検討経過を取りまとめる予定です。



情報端末の操作を体験する委員

がん対策推進県議会議員連盟研究委員会

がん対策推進県議会議員連盟研究委員会(鈴木幹夫委員長)は、五月二十四日に今後の本県のがん対策の推進の充実に向けた検討を行うため、山梨県立中央病院において、本県のがん対策の現状について調査するとともに、通院治療がんセンター等の視察を行いました。



担当者から説明を受ける委員

中央リニア新幹線建設促進
県議会議員連盟研究委員会

中央リニア新幹線建設促進県議会議員連盟研究委員会(浅川力三委員長)は、リニア中央新幹線山梨県駅周辺整備の参考とするため、六月四日に、駅前広場や駐車場の整備など先進的な取り組みをしている北陸新幹線飯山駅を視察するとともに、長野県飯山市役所を訪問し、担当者から駅整備の取り組みについて説明を受けました。



北陸新幹線飯山駅の視察

9月定例会の予定

9月定例会は次のとおり開催する予定です。常任委員会については分散開催を実施する予定ですので、ぜひ傍聴にお越しください。

- 9月 19日(水) 本会議(開会)
- 25日(火) 本会議(質疑・質問)
- 26日(水) 本会議(質疑・質問)
- 27日(木) 本会議(質疑・質問)
- 28日(金) 本会議(質疑・質問)
- 10月 1日(月) 常任委員会
- 2日(火) 常任委員会
- 3日(水) 常任委員会
- 5日(金) 本会議(閉会)

現時点での予定であり、今後変更となる場合があります。

高校生議会を開催します

選挙年齢が満18歳以上に引き下げられたことを踏まえ、山梨県の次代を担う県下の高校生に県政や県議会に対する理解、関心を深め、政治へ参加する意識を高めてもらうため、「高校生議会」を開催いたします。どなたでも傍聴できます。ぜひ傍聴にお越しください。

- 実施日 8月6日(月)
- 場所 山梨県議会議事堂 本会議場
- 日程 午前の部 9:45～12:00
午後の部 13:00～15:15

【問い合わせ先】
県議会事務局議事調査課
TEL 055-223-1813
FAX 055-223-1817

台湾・宜蘭県へ友好訪問

白壁賢一議長を団長とする山梨県議会台湾友好訪問団が、台湾の高雄市議会での友好交流締結式出席にあわせて、同じく台湾の宜蘭県議会を訪問しました。今回の訪問では、観光、農業、訪日教育旅行等の分野において意見交換し、両議会のさらなる交流を進めることを確認しました。



陳文昌宜蘭県議会議長(左)と白壁賢一議長